

防犯青森

～令和7年秋号～

NO.286

令和7年10月1日発行

公益社団法人 青森県防犯協会連合会
〒030-0801 青森市新町二丁目3番1号
TEL 017-777-5959 FAX 017-775-4211

令和7年秋の「安全・安心まちづくり旬間」 10月11日(土)～10月20日(月)

青森県警察 の活動重点

- 1 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止
- 2 子供と女性の犯罪被害防止
- 3 鍵掛けの励行による窃盗被害防止
- 4 万引き防止



安全・安心まちづくり旬間とは

「青森県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」に基づいて設けられました。安全・安心なまちづくりについての関心と理解を深めることを目的として、県と警察、防犯協会などの関係機関・団体が緊密に連携し、各種犯罪の抑止対策を集中的に展開する期間となります。

期間中、県民の皆さんの体感治安の改善、自主防犯意識の向上を図ってまいります。

① 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止

最近3年間の県内の特殊詐欺およびSNS型投資・ロマンス詐欺被害状況

		令和5年	令和6年	令和7年上半期	前年同期比
特殊詐欺	認知件数	97件	97件	89件	+58件
	被害金額(約)	3億4,564万円	1億7,578万円	3億3,558万円	+2億7,703万円
SNS型投資・ロマンス詐欺	認知件数	—	67件	46件	+11件
	被害金額(約)	—	4億4,611万円	3億4,237万円	+9,400万円

認知件数・被害金額ともに前年同期よりも大幅に増加しています。

恋愛感情を利用した詐欺に注意！
SNSで勧誘する「もうけ話」は詐欺！



期間中は、幅広い年齢層に対する広報啓発活動を実施します。

もし、通話しながらATMを操作する人や、電子マネーを大量に購入している人などを見かけた場合は、その人に、「詐欺ではありませんか」等の声掛けをお願いします！

② 子供と女性の犯罪被害防止

最近3年間の県内の脅威事犯認知件数

	令和5年	令和6年	令和7年上半期	前年同期比
認知件数	482件	495件	212件	-39件

※「脅威事犯」とは、未成年や成人女性に対する性犯罪等の前兆とみられる声掛け、つきまとい、盗撮、接触、身体露出など

期間中は、防犯ボランティア等と連携して警戒・見守り活動を推進します。

不審な人を見かけたときは、早期解決・被害の拡大防止のために警察への早期通報をお願いします！



③ 鍵掛けの励行による窃盗被害防止

最近3年間の自転車盗、車上ねらい、侵入窃盗認知件数

	令和5年	令和6年	令和7年上半期	前年同期比
自転車盗	579件	665件	236件	+7件
車上ねらい	213件	164件	71件	-18件
侵入窃盗	531件	307件	107件	-31件

被害者の多くの人々が鍵を掛けていない状態で被害に遭っています。

期間中は、駐輪場で鍵掛けの呼びかけや青色回転灯を装備した車が警戒活動を行います。

ツーロックなどの鍵掛けを習慣化し、自主防犯に努めましょう！



4 万引き防止

最近3年間の県内の万引き認知件数及び検挙人員

	令和5年	令和6年	令和7年上半期	前年同期比
認知件数	666件	663件	341件	-8件
検挙人員	414人	412人	198件	+28件

検挙された人のうち
約半数が高齢者です！

期間中は、店舗でパトロールの強化や万引きさせない売場環境作りをします。
万引きをしない、させない、見逃さない青森県にしていきましょう！

万引きは窃盗罪です。(10年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金が課せられます。)

万引き
しないで...



少年を非行・犯罪被害から守ろう

1 令和7年上半期の青森県内の少年非行概況【暫定値】

区分	年別	令和6年 6月末(人)	令和7年 6月末(人)	増減 (人)
非行少年等	刑法犯罪少年	44	51	+7
	触法少年	32	30	-2
	計	76	81	+5
	特別法犯罪少年	8	9	+1
	触法少年	0	0	±0
	計	8	9	+1
不良行為少年	不良行為少年	692	519	-173
	合計	777	609	-168

令和7年上半期の県内の非行少年等は、609人で前年より168人減少しました。

《刑法犯少年》

罪種別では、「万引き」(27人)が最多、学職別では、「中学生」(21人)・「小学生」(20人)の順に多かったです。

《不良行為少年》

行為別では、「喫煙」(230人)・「深夜はいかい」(98人)・「粗暴行為」(74人)の順に多く、学職別では、「高校生」(165人)・「有職少年」(103人)・「中学生」(85人)の順に多かったです。



2 少年の薬物乱用防止

近年、特に若年層を中心とした大麻の乱用拡大が問題となっています。

令和6年中、全国で、大麻事犯により検挙された少年は1,128人で過去最多となった令和5年からやや減少したものの、依然として高水準で推移しています。

少年が大麻を初めて使用したきっかけは「誘われて」が約6割を占め、使用した動機は、「好奇心・興味本位」が最多で、次いで「その場の雰囲気」が多かったです。

大麻は成長期にある少年の脳やメンタルヘルスに悪影響を及ぼします。

危険性を認識し、誘われても、「はっきり、きっぱり」と断り、その場から離れましょう。

最近では若者による市販薬の過量服薬、いわゆる「オーバードーズ」が増加しており、意識障害などにより救急搬送されるなどの事例もあります。薬は、医師や薬剤師、登録販売者の指示に従い、用法・用量を守って正しく服用しましょう。



3 子供に関する相談は、「少年サポートセンター」へ

「少年サポートセンター」は、悩みや問題を抱えた少年や犯罪などの被害に遭った少年の立ち直りを支援する機関で、青森県内に4か所あります。

少年に関することなら、内容は問わず、どなたでも相談いただけます。

青森少年 サポートセンター	新町センター(警察本部内)	☎ 0120-58-7867	受付 月～金 8:30～17:15 ※祝日・年末年始を除く
	安方センター(青森警察署内)	☎ 017-776-7676	
八戸少年サポートセンター(八戸警察署内)		☎ 0178-22-7676	
弘前少年サポートセンター(弘前警察署内)		☎ 0172-35-7676	
少年サポートメール		youngmail-587867@extra.ocn.ne.jp	
(受付: 24時間受信/回答は2～3日後 ※土・日・祝日・年末年始を除く)			

～少年問題に関する専門的な知識や技能を持つ「少年補導職員」が対応します。～

令和7年度安全・安心まちづくり青森県民大会開催

日時: 10月7日(火) 13時30分～

多数のご参加をお待ちしています。

場所: リンクモア平安閣市民ホール(青森市柳川1-2-14)



キノコ採りの遭難防止対策

1 昨年(令和6年)のキノコ採り遭難発生状況

	発生件数・人員		死 亡	行方不明	負 傷	無事救助
令和6年	9件	9人	0人	0人	1人	8人
前年比	-9件	-10人	-5人	-1人	-5人	+1人

《遭難の特徴》

- 原因は、道迷いが9人中8人
- 遭難者全員が65歳以上

2 遭難防止のためのアドバイス

● 携帯電話は車に置かず持ち歩く

- ☐ 必ずGPS機能を有効にする。

● 山に入るとき、山に入ったら

- ☐ 1人で入山しない。
- ☐ 家族などに「行き先」「帰宅時間」「車の駐車場所」を知らせる。
- ☐ 携帯電話、クマよけ鈴、コンパス、食料などを持つ。
- ☐ 目立つ色の服を着る。
- ☐ 山中では声を掛け合い、目標物を決めて行動する。
- ☐ 急斜面や崖などの危険な場所は避け、早めに下山する。

● 万一、迷ったら

- ☐ 日没後は歩き回らずに、救助を待つ。
- ☐ ヘリコプターの音が聞こえたら、広い場所でタオルなどを振って合図する。



3 クマによる被害に注意

県内各地でクマの出没が相次ぎ、人身被害が発生しています。

クマの出没状況や遭遇時の対応方法を確認し、被害に遭わないようにしましょう。

● クマに出遭わないために

- ☐ 最新の出没情報をインターネットなどで確認する。
- ☐ 複数人で行動し、鈴やラジオなどで音を出しながら歩く。

● クマに遭遇した時の対応方法

- ☐ 子グマでも決して近づかない。
- ☐ クマを見つけたら、背中を見せず、静かにゆっくり後退する。
- ☐ 走って逃げたり、大声をあげたり、物を投げたりしてクマを刺激しない。

県防連ニュース

◆令和7年全国地域安全運動用防犯ポスター優秀作品

令和7年全国地域安全運動(10月11日～10月20日)の実施に合わせ、「様々ななかたちの防犯ボランティア活動」をテーマに防犯ポスターを募集したところ、県下各地区から33点の応募があり、金賞2点、銀賞3点及び銅賞10点が選出されました。(小学生の部の金賞は該当作品がありませんでした。)



金賞(中学生の部)

五所川原第三中学校3年
山本彩瑛さん



金賞(高校生の部)

青森県立八戸東高等学校3年
嶋守真優さん

夏の地域安全運動推進強化旬間ポスター



ポスター(中学生の部金賞)山本彩瑛さんの作品と標語(中学生の部金賞)今井託人さんの作品を採用して作成しました。

◆令和7年夏の地域安全運動用防犯標語優秀作品

令和7年夏の地域安全運動の実施に合わせ、「様々ななかたちの防犯ボランティア活動」をテーマに防犯標語を募集したところ、県下各地区から88点の応募があり、金賞3点、銀賞6点及び銅賞6点が選出されました。

金賞	小学生の部	あいさつで まちのあんぜん みまもりたい(隊)	青森市立新城小学校	1年	にしざわ たくまさん
	中学生の部	守りたい 地域の安全 みんなの笑顔	平川市立平賀東中学校	1年	今井 託人さん
	高校生の部	ぼくたちを 陰から支える ボランティア	八戸学院光星高等学校	1年	伊藤 鴻さん

◆令和7年度青森県防犯協会連合会定時総会の開催

公益社団法人青森県防犯協会連合会は、6月16日、令和7年度の定時総会を青森市の青森県観光物産館アスパムにおいて開催しました。

総会では、令和6年度の事業報告・収支決算、令和7年度の事業計画・収支予算及び役員改選について提案され、すべて原案どおり承認されました。

総会に引き続き開催した理事会において、笹木正信会長が再任されました。



◆各地区防犯協会等の活動状況

春の安全・安心まちづくり活動

県防犯協会連合会・青森地区防犯協会

4月17日青森市のアスパムにおいて春の安全・安心まちづくり推進大会を開催し、新入学児童代表が誓いのことばを述べたほか、青森地区防犯指導隊長が決意宣言し、安全・安心まちづくりに対する意識の高揚を図りました。



八戸地区連合防犯協会

4月17日八戸市庁本館前広場で開催された春の安全・安心まちづくり推進大会において、自主防犯意識の高揚を図ったほか、防犯指導隊員の査閲式を実施し、隊員の士気の高揚を図りました。



むつ地区防犯協会

4月17日むつ警察署で開催された春の安全・安心まちづくり推進大会において、むつ地区防犯指導隊長が大会宣言を実施後、市内のスーパーの前において防犯指導隊員が各種防犯広報活動を実施しました。



七戸地区防犯協会

4月17日七戸警察署で開催された春の安全・安心まちづくり推進大会において、七戸町防犯指導隊長が大会宣言を実施後、地区内のスーパーの前において防犯指導隊員が各種防犯広報活動を実施しました。



三戸地区防犯協会

春の旬間中の4月18日三戸地区内のスーパー3店舗において、三戸警察署員と防犯指導隊員等のボランティアの皆さんが特殊詐欺被害防止等の広報活動を実施しました。



鱒ヶ沢地区防犯協会

4月21日鱒ヶ沢警察署において春の安全・安心まちづくり推進大会を実施後、地区内のスーパー2店舗の前で防犯指導隊員等のボランティアの皆さんが特殊詐欺被害防止等の広報活動を実施しました。



大間地区連合防犯協会

春の旬間中の4月21日大間町のスーパーにおいて大間警察署員と防犯指導隊等のボランティアの皆さんが特殊詐欺被害防止、少年の非行防止について広報活動を実施しました。



平内地区防犯協会

4月21日平内町立体育館において春の安全・安心まちづくり推進大会を開催し、防犯指導隊長による決意宣言が行われ、幼稚園児によるいかのおすしの遊戯が披露されました。



自転車を買ったら、譲り受けたら 自転車防犯登録 をしましょう。



青森県防犯協会連合会では賛助会員を募集しています

公益社団法人青森県防犯協会連合会は、犯罪のない明るく住みよい社会を実現するため、防犯意識の啓発等の事業に取り組んでいます。この趣旨にご賛同、ご支援をいただける団体及び個人の賛助会員を募集しております。

賛助会費(年額)は、団体10万円、個人105千円です。入会のお問い合わせは事務局までご連絡ください。多くの方のご理解、ご協力とご加入していただきますようよろしくお願いいたします。

公益社団法人 青森県防犯協会連合会事務局
TEL. 017-777-5959 ☒ aokenbouren@snow.ocn.ne.jp